

# 2018年度 GSK ジャパン研究助成

## <目次>

### ◎ 募集要項

1. 研究助成の趣旨
2. 応募者の資格および条件
3. 助成対象外の研究
4. 応募方法
5. 募集期間
6. 助成金額および助成件数
7. 助成する研究の期間
8. 審査
9. 採択結果の通知と公開
10. 助成金の交付方法と期日および使用期間
11. 助成金の使途
12. 募集する分野・疾患
13. 研究報告および会計報告
14. その他
15. 作成・改訂履歴

### ◎ 研究助成申請時の留意事項

1. 応募方法
2. 提出書類
3. 書類提出先
4. 問い合わせ先

## 2018年度 GSK ジャパン研究助成 募集要項

### 1. 研究助成の趣旨

「GSK ジャパン研究助成」は、医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の研究を支援します。

### 2. 応募者の資格および条件

- 2.1 応募する研究の代表者であること
- 2.2 2018年4月1日現在で、39歳以下（生年月日が1978年4月2日以降）であること、または40歳以上の場合は学位取得後5年以内であること
- 2.3 所属する研究機関<sup>\*</sup>の所属長（部局長）の了解を得ていること（例：大学の場合は教授もしくはそれ以上の役職者（医学部長、学長等）、病院の場合は病院長等）
- 2.4 研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない）
- 2.5 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助のみに従事している場合は除く）
- 2.6 寄付講座に所属する者でないこと
- 2.7 2014～2017年に「GSK ジャパン研究助成」の助成を受けていない研究者であること

<sup>\*</sup>：科学研究費補助金取扱規程（文部省告示、文部科学省改正）第2条に規定される研究機関

### 3. 助成対象外の研究

	助成対象外	助成対象になる研究 / 必要な作業
3.1	日本国内で行われない研究	
3.2	同一の研究について他の助成金を受けている研究*1	
3.3	複数の研究機関による共同研究*2	
3.4	すでに実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究	
3.5	弊社および他社で開発中の薬剤もしくは販売している製品や有効成分を使用する研究*3	<u>疾患モデル作成や病態解明のために使用する場合は認められます</u>
3.6	疫学調査・疫学研究*3	
3.7 臨床試験・臨床研究		
	1) 通常の診療を超えた医療行為が含まれる場合（研究を目的として侵襲的に新たな試料を採集する場合等）*3	<u>左記に該当しない臨床試験・臨床研究は助成対象とします</u> ただし、所属する研究機関の倫理委員会の承認が確認できる書類をご提出ください*4
	2) 被験者の集団を 2 群以上のグループに分け、グループ間で効果等を比較する場合*3	
	3) 胚または胎児の組織や細胞およびそれらから生成される細胞株を使用する研究	<u>左記に該当しない場合で、通常の診療行為で得られるその他のヒト由来のサンプル（組織、血液、尿、DNA 等）を使用する研究は助成対象とします</u> ただし、所属する研究機関の倫理委員会の承認が確認できる書類をご提出ください*4

\*1：弊社以外の研究助成への応募を妨げるものではありませんが、他の助成を受ける場合は弊社の助成対象者から除外されます。したがって、他の助成を受けることが決定した場合は、速やかに当事務局にご連絡ください。

\*2：複数の研究機関に助成金を分配して使用する場合を指します。

\*3：該当する場合、本制度とは別の支援制度が GSK グローバルサイト (<https://iss.gsk.com/>) にございますのでご参照ください。

\*4：倫理委員会の承認が確認できる書類が Web の申請締切（2018 年 5 月 31 日）までに提出されない場合は申請を受け付けることはできません。

#### 4. 応募方法

4.1 応募者は募集要項に従って、下記のリンク内にある「2018年度 GSK ジャパン研究助成応募受付サイト」からご応募ください。

<https://jp.gsk.com/jp/research/glaxosmithkline-research-grant-2018/>

4.2 ご応募できる件数は1研究者1件のみとなります。

4.3 同じ研究機関、教室からの応募人数に制限はありません。

4.4 上記リンク内にある「研究計画フォーマット」をご使用の上、研究計画を作成してください。  
なお、以下は作成時の留意事項となります。

- 研究計画は、概要（A4サイズ1ページ以内）と詳細（A4サイズ3ページ以内）で構成してください。  
上記ページ数を超える場合は審査の対象となりませんので、ご注意ください。
- 詳細には、研究の意義、目的、方法ならびにスケジュールを記載し、フローチャートを用いるなどわかりやすい記述を心がけてください。
- フォントは「MSゴシック」、サイズは「10.5ポイント」で作成してください。
- 余白および行間隔の設定は変更しないでください。
- 研究代表者を特定できるような記載（論文の著者名等）はしないでください。
- 応募受付サイトにアップロードしていただくPDFは2Mバイト以内で作成をお願いいたします。

4.5 Web申請完了後の手続き方法や提出書類については、P.9の別添「研究助成申請時の留意事項」をご参照の上、必要な手続きを行ってください。

#### 5. 募集期間

2018年4月2日（月）～2018年5月31日（木）18:00まで（申請ID発行完了）

#### 6. 助成金額および助成件数

6.1 助成金額は、1研究に対して200万円以内とし、助成件数は約100件です。

6.2 「12. 募集する分野・疾患」に示す各分野において募集し、助成件数は分野ごとの応募数により決定します。

#### 7. 助成する研究の期間

開始：「9. 採択結果の通知と公開」に記載する採択結果通知の受領後からとします。

終了：2020年3月31日までとします。

## 8. 審査

- 8.1 応募受付サイトから登録された情報および提出された書類が本要項を満たさない場合には審査の対象となりません。
- 8.2 提出いただいた資料をもとに疾患領域ごとに社外の医学専門家で構成される審査委員会にて審査されます。
- 8.3 審査は、「研究課題の独創性および革新性」、「研究計画・方法の妥当性」、「研究課題の学術的重要性・妥当性」、「研究課題の波及効果および普遍性」ならびに「研究経費の妥当性」の観点で行われます。
- 8.4 審査にあたり研究代表者の業績・研究略歴を考慮した研究遂行能力も審査の対象となります。
- 8.5 グラクソ・スミスクライン株式会社の社員が審査委員会に参加しますが、投票権は持ちません。

## 9. 採択結果の通知と公開

2018年10月下旬までに、申請書に記載されている応募者宛てに採択結果通知を送付いたします。その際、採択者には助成金の使途に関する確認書を同封しますので、ご署名の上、返送をお願いいたします。なお、個別の審査内容の詳細についてのお問い合わせに応じることはできません。

弊社ホームページ上で採択者の氏名および所属機関名を公開いたします。

研究課題名については、研究助成期間終了後、2020年4月以降にホームページ上で公開を予定しておりますのであらかじめご了承ください。

## 10. 助成金の交付方法と期日および使用期間

交付方法：所属機関が指定する口座に助成金を振り込みます。

交付期日：2018年11月～12月を予定しております。ただし、各研究機関の手続きの状況により前後する可能性があることをご了承くださいますようお願いいたします。

使用期間：「9. 採択結果の通知と公開」に記載する採択結果通知の受領後から、助成する研究期間の終了日(2020年3月31日)までとします。

## 11. 助成金の使途

応募者はあらかじめ下記の点について、所属する研究機関からの合意を得てください。

- 11.1 研究助成申請書の記載通りの使用を原則とし、研究期間内に使い切ることとします。
- 11.2 助成金は応募者が所属する研究機関のみに振り込まれ、その研究機関のみで使用することとします。
- 11.3 助成金を使わなかった場合または助成金が余った場合は、原則、返却していただきます。
- 11.4 助成金の使途を変更する場合、または助成金対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は速やかに当事務局にご連絡ください。内容により審査委員会に諮ります。
- 11.5 この助成金による研究に関連性の無い経費に助成金を使用することはできません。研究に関連性の無い経費事例を以下に記載します。判断に迷う場合は研究助成事務局に事前にご確認ください。

### <研究に関連性の無い経費事例>

- ・ 建物等の施設・設備の整備費用
- ・ 機器の修理費用
- ・ 通常備えるべき什器（机・椅子等）
- ・ 複数台の PC、スマートフォンおよび電子機器類
- ・ 電子機器にかかる回線費用
- ・ 研究代表者および共同研究者ならびに職員の人件費\*
- ・ 本研究助成による研究の発表を行わない国内学会または海外学会の参加費、旅費
- ・ 研究代表者以外の国内学会または海外学会の参加費、旅費
- ・ 学会年会費

\*：本研究のための補助員費用は使用可としますが、会計報告書にて雇用期間・費用などを報告いただきます。

- 11.6 原則として設備備品の取得価格が 50 万円以上かつ耐用年数が 1 年以上の物品の購入には本助成金を使用できません。
- 11.7 研究経費全体の中で「旅費」の占める割合が 25%以内、「その他」の占める割合が 10%以内になるようにしてください。
- 11.8 「その他」については具体的な使途をすべてご記載ください。例：研究成果発表費用（学会誌投稿料など）、通信費 等
- 11.9 間接経費免除（オーバーヘッド）の取り扱いは、採択通知を受領された際にお申し出ください。ただし、「13. 研究報告および会計報告」に規定の通り、各研究機関で通常行われているレベルの会計報告を要しますので、免除に該当するかについては研究機関の担当部署にご確認ください。

## 募集する分野・疾患

以下の分野カテゴリー毎に対応する対象疾患に関する研究が研究助成の対象となります。

分野カテゴリー	対象疾患	分野カテゴリー	対象疾患
A. 呼吸器疾患	気道閉塞性疾患 (慢性閉塞性肺疾患など) 間質性肺疾患 アレルギー性肺疾患 (気管支喘息など) 感染性肺疾患 (肺炎・肺結核など)	D. 泌尿器疾患	前立腺肥大症 膀胱炎 腎盂腎炎 前立腺炎 精巣上体炎(副睾丸炎) 尿道炎 バルトリン腺炎
B. 皮膚疾患	蕁麻疹 湿疹・皮膚炎 アトピー性皮膚炎 痒疹 皮膚そう痒症 慢性膿皮症 男性型脱毛症 原発性腋窩多汗症 単純疱疹 带状疱疹 表在性皮膚感染症 深在性皮膚感染症	E. 肝疾患	B型肝炎
C. 耳鼻咽喉疾患	アレルギー性鼻炎 血管運動性鼻炎 咽頭・喉頭炎 扁桃炎 外耳炎 中耳炎 副鼻腔炎 (好酸球性副鼻腔炎は除く)	F. 肺高血圧症	肺動脈性肺高血圧症
		G. リウマチ・膠原病	全身性エリテマトーデス

## 12. 研究報告および会計報告

### 研究報告：

研究成果を外部に発表される場合は“「GSK ジャパン研究助成 2018（英文名：GSK Japan Research Grant 2018）」による 研究助成である”ことを明記していただき、発表された論文の別刷または学会発表のアブストラクトを当事務局宛てご提出ください。また、研究の進捗状況を 2020 年 4 月末までに当事務局宛てに提出することを必須としますが、論文投稿に関しては期間にかかわらず事務局長宛に、ご報告いただく必要があります。また、研究の最終成果物を共有させていただき目的で研究成果報告冊子等の作成、場合によっては、学会での研究発表などを行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 会計報告：

使用された研究経費については、その使用を確認できる記録を可能な限り保管くださるようお願いいたします。2020 年 4 月末までに会計報告書（書式：任意、証ひょう添付不要）を当事務局宛てに送付していただく必要があります。また、弊社もしくは外部機関による監査が行われることがありますので証ひょう類（領収書・納品書等）は必ずお手元で保管をお願いいたします。なお、報告の際に証ひょう類は添付不要ですが、購入日、購入物品、購入先、購入単価等の詳細を会計報告書にご記載いただくことを必須とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

## 13. その他

- 14.1 助成対象者として相応しくない行為があったときは、助成をやめたり、研究助成金の返還を求めたりすることがあります。
- 14.2 個人情報とは本研究助成に関連する業務にのみ利用し、必要な範囲に限定して適切に取り扱います。
- 14.3 本研究助成に関しては「グラクソ・スミスクライン株式会社 医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針」に則り、弊社ホームページ上で研究助成先（施設名および教室・講座名）・氏名・研究助成金額等の情報開示をさせていただきます。
- 14.4 2018 年度 GSK ジャパン研究助成の審査委員については、研究助成期間終了後、2020 年 4 月以降の公開を予定しております。

## 14. 作成・改訂履歴

新規作成：2018 年 3 月 2 日作成

以上



## 研究助成申請時の留意事項

応募に際しては「募集要項」を熟読の上、以下の事項に従ってください。

### 1. 応募方法

下記の応募受付サイトで必要とされる情報を登録し、必要な書類のPDFをアップロードし、申請手続きを行ってください。研究助成申請書（申請ID記載）がダウンロードできるようになります。

[https://glaxosmithkline.co.jp/research\\_grant/](https://glaxosmithkline.co.jp/research_grant/)

**【申請締切：2018年5月31日（木）18:00】**

### 2. 提出書類

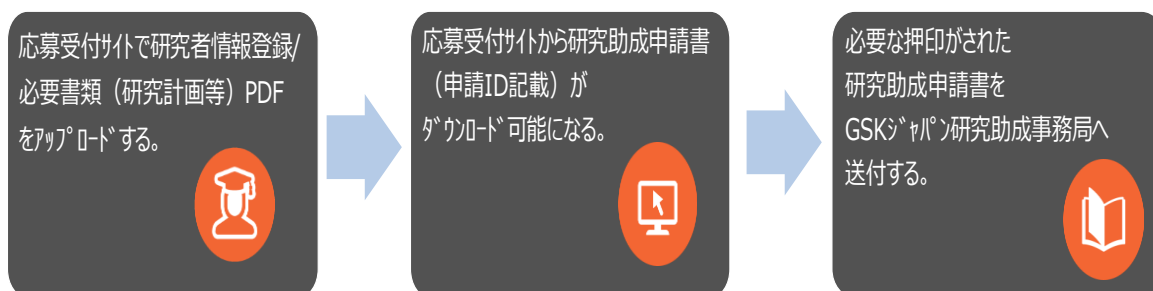
研究助成申請書をダウンロード後、プリントアウトの上、必要箇所に押印をいただき、P.10の「3.書類提出先」に記載の宛先まで書類をご提出ください。

提出後の書類の差替えは認められませんのでご注意ください。

研究助成申請書（研究代表者印、所属長印※ 必須）

※：大学の場合は教授（研究代表者の職務上の上長を指します）もしくはそれ以上の役職者（医学部長、学長等）、病院の場合は病院長等の押印をお願いいたします。

**【提出締切：2018年6月8日（金）必着】**



### 3. 書類提出先※

〒107-0052

東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR

グラクソ・スミスクライン株式会社 GSK ジャパン研究助成事務局 宛

注) 封筒の表に「研究助成申請書類在中」と朱書してください。

※2017年10月に弊社本社オフィスが上記住所に移転したため、昨年の募集時の書類提出先住所とは異なっておりますのでご注意ください。

#### <書類送付時の注意>

- ・申請書類の送付の際は配達証明出来る方法（特定記録郵便、簡易書留、宅急便、レターパックプラス等）で必ずご送付ください。
- ・送付方法の指定に伴い事務局から申請書類の受理のご案内はいたしませんので、必ず送付（控）は保管くださるようお願いいたします。
- ・上記の送付方法以外でご提出された場合の紛失等について、弊社では一切の責任は負いかねますのでご了承ください。
- ・採否にかかわらず申請書類の返却はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

### 4. 問い合わせ先

本募集要項等に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ直接ご連絡ください。  
なお、弊社の営業およびマーケティングに所属する社員は、利益相反の観点から本研究助成に関するお問い合わせを受けることはできません。

グラクソ・スミスクライン株式会社

GSK ジャパン研究助成事務局

メールアドレス：[jp.gsk-grant2018@gsk.com](mailto:jp.gsk-grant2018@gsk.com)

以上

#### ◎申請内容の秘密保持

審査委員および研究助成に関する業務にあたる GSK 社員は、申請内容に関する秘密保持の義務を持ちます。

#### ◎ 個人情報に関する取り扱い

ご入力・ご記入いただいた個人情報は、研究助成に関する業務に利用させていただきます。また、個人情報の保護に関する法律、関連諸法令、関連省庁等のガイドラインを遵守し、当社プライバシーポリシーに則って適切に取り扱います。

当社プライバシーポリシーは、次のホームページからご確認ください。

<https://jp.gsk.com/jp/privacy-policy/>